

【 第 3 回富良野市障がい者計画策定市民委員会 議事録 】

○福祉課長の進行で開会

○委嘱辞令の交付

- ・行政機関団体から選任の旭川公共職業安定所 富良野出張所 所長 吉田光紀氏に対し、委嘱辞令の交付を行った。

○保健福祉部長あいさつ

○各委員及び事務局員の紹介

○委員会開催 委員長が議長となり議事進行

○委員長あいさつ

○議事

(1) 新たな障がい者計画の策定について～事務局より資料 1 について説明

- ・提案、意見等なし

(2) 富良野市障がい福祉に関するアンケート調査の結果報告について～事務局より資料 2 について説明

・アンケート調査の結果を踏まえて、療育手帳を持つ方が通院した時に話しの内容を理解しにくい、また通院の手段がない等、サービスを利用している方は施設の職員が手伝う機会が多いが、サービスを利用されていない方に対する支援はまだ不足していると思われる。

・今後のアンケート調査の質問方法では、性別的な障がいに配慮をする必要があるのではと思えた。

・全体的な印象として無回答が多い。無回答の意図について考える必要があると思われる。答えたくないのか分からなくて答えていないのかが分からない。

・問 32「富良野市は生活しやすいですか」の設問で 6 割の方が生活しやすいと答えているが、一方他の方が住みやすい街の中で地域での生活をもう一度取り戻す事ができるような対策も必要ではないかと考える。他にこのアンケート結果について事務局の印象についても聞きたい。

・自由意見について、多くの市民が色々な事を考えている事に驚かされました。この自由意見について、議会や議員等、多くの皆さんに知って頂き、富良野市の政策に生かして頂く事が障がい者計画とはまた別に必要なのではないかと感じました。

・相談の支援や窓口については、市民の要求にきちんと応えられていない事から、その結果が自由意見に多く意見や要望が出てきているのではないかと思える。行政にお願いしたい事として相談窓口の充実、また、自由意見の中には予算措置の必要のない意見も多くあり、この意見を拾い上げて実現や改善をするようにお願いしたい。

・身体障害者手帳あるいは療育手帳、精神保健福祉手帳を持つ方なのかの違いによって大きく望む事が違う事が分かりやすく出ているのではないか。その事は、仕事とお金の

関係の中に出てきていて問 19-1「仕事に就くために職業訓練などを受けたいか」では、身体障がいの方は、「受けたくない」、「受ける必要がない」という回答が多く、療育手帳や精神保健福祉手帳、自立支援医療の方は、完全に逆転している。また、問 33「今後市にしてほしいと思うこと」でも、同じく療育手帳や精神保健福祉手帳、自立支援医療の方は経済的援助の充実が 1 位になっている。そのため、障がい別に具体的な施策を考えた方が良いのでは思いました。富良野市役所の障がい者の法定雇用率について把握してるか。

- ・アンケート結果を読み、考えさせられる所が多くあった。この調査結果から我々委員が、どう考察してくかが求められるとしたら、この調査結果をもっと読み込む必要があると思われる。この計画策定の前提として問 33「今後市にしてほしいと思うこと」の住みやすい街づくりをどう具体化していくことが重要だと考える。

- ・私は、富良野市の特別支援に関わる立場として 18 歳未満のアンケートのサンプル数が少なく、この計画にどう反映していくかを考えた時にあまりにも数が少ないのではないかと懸念している。また、富良野市では現在、高校の再編を行うことが決まり、具体的に動き始めている。その中で特別支援を受けている児童の保護者が強く望まれていることの中に富良野市に高等養護学校を誘致して欲しいという切実な意見が出ていて、この自由意見の中にも記載がある。ぜひこの計画の中に明記して頂き、道教委の方に要望を上げて頂けると具体的になってくるのではないかと考えます。

- ・保健所の相談の中で就労や雇用の問題でどこにつないだらいいか分からない時があり、生活を支える部分の中で具体的に計画の中に盛り込んでいけたら良いのでは。

- ・相談支援を利用したい方の回答が多く、障がい者だけでなく一般の方が困った時にどうして良いか迷ってしまうことから相談場所の周知が必要だと考える。

- ・災害のことでは、難病患者の場合等、自立が難しい方がどう避難するかで困っていると思われ、災害対策についてもアンケート結果から、すごく重要なことだと思われる。

- ・問 32「富良野市は生活しやすいか」の問いに 18 歳未満、18～29 歳では「生活しにくい」と答えている方が半数以上あり、全体の回答では、6 割が「生活しやすい」、「どちらかといえば生活しやすい」と回答しているのに対し対象的に若い方は生活しにくいと考えているとのことから、年齢別の若い方の意見は、数字は少ないが重要ではないかと思われる。障がいのある方が安心して富良野地域で成長していける環境を整える事ができる提言ができれば良いと考えました。

- ・アンケート結果の回答の 65%が 65 歳以上であり、若い方の回答数が少ない。例えば、問 19「今後収入を得る仕事をしたいか」の設定で若い方は仕事をしたいとの意向が強く出ているがどのような年齢層を対象にしたのか。

- ・相談支援については、アンケートの結果から障がい一つだけの相談ではなくて、世帯全体での相談支援が必要であり、そのことが背景にあるのではと感じました。

- ・年齢によって望むこと、求めていることが違うということも重要である。

- ・自由意見をこれだけ多くの市民が書いていることから、この意見を大事に進めていきたい。

- ・高校進学を考えている保護者の方の不安が表れていることから、このことも重要だと感じました。

・すべての要求に答えるのは、財政的人的に難しいと思われることから、実現可能なことをランク付けした方が良いのでは。例えば、身体障がい者の駐車場に一般の方が駐車されている問題では、特に財政措置も必要なく協力をお願いすることで実現することが可能だと思われる。今回行ったアンケート結果の中から、次回の計画策定に向けて具体的な取り組みやすい仕組みを作ることを行っては如何か。

○その他

(1) 今後のスケジュールについて

- ・次回第4回委員会は、10月の開催日程を予定

閉会